

学校跡地に関する意見交換会開催の状況

《地頭方地区》

令和5年11月16日（木）開催
ジーボ

参加者 21名（市内企業、GreenNext、区役員等）

意見交換会の目的

市では、市内10校の小中学校について、相良地区と榛原地区それぞれに1校ずつの義務教育学校として、令和12年度～令和15年度の開校に向け、その準備を進めています。

この機会を新たなまちづくりのチャンスと捉え、閉校後の学校の利活用について検討をしています。

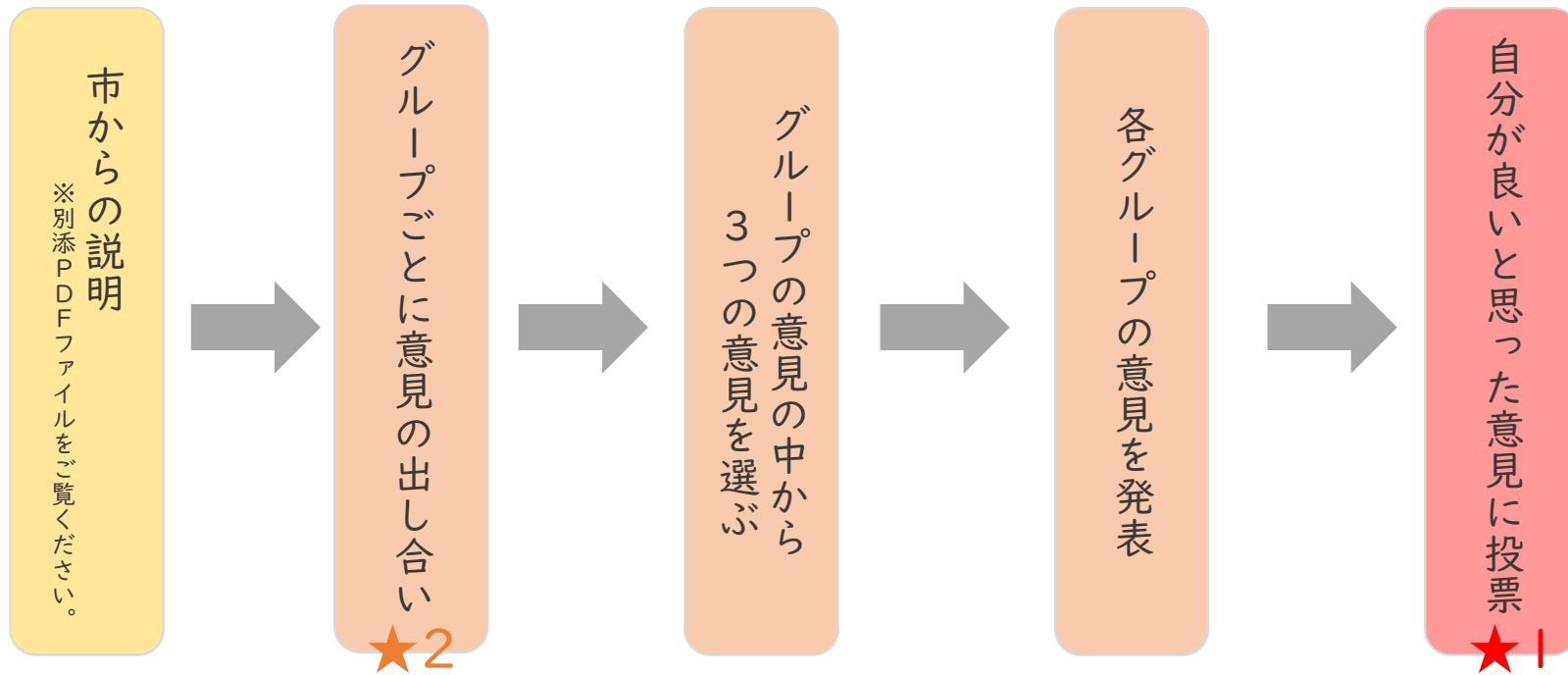
昨年度、各地域において、「将来、地域がどんな地域になったら良いか」をテーマに意見交換会を開催しました。(R4年度の結果は、後のページに記載)

【R4年度】
どんな地域に
なったら良いか

【R5年度】
どんな場所に
していったら良いか

今回は、その地域を目指していくために、閉校後の学校を、「どんな場所にしていってよいか」をテーマに、意見交換会を開催しました。

「閉校後の地頭方小学校を、どんな場所にしていったら良いか」



投票結果の一覧

順位	意見	得票数
1	売却して企業で活用を 一般事業者へ公募して新規に活力ある地頭方にする。 事業益で子どもが集う関連施設を併設してもらう、地元の人材の採用する事で雇用を確保、住民のいこいの場を併設してもらう	17
2	生涯学習の活動の場にする (地産直売スーパー、自分の為のレベルup、自分の知識を伝える) 地域の人も活用できる生涯学習や研究体験ができる場 海を学べる(魚、環境、漁業体験、料理)場	12
3	ドローン、水中ドローン、建設機械、農業用機械訓練所&実証実験場	9
4	イベント広場、オートキャンプ場	8
5	海産物陸上(バナメイエビ、ウナギ、スッポン、フグ、チョウザメ) →体験型施設	7
6	切り干ミュージアム 体験して作る	5
7	防災のための施設 (体育館、校舎に避難、運動場はテントやガレキ置き場等に多目的利用)	1
7	道の駅→ご飯食べられる、地場産品を売れる場所	1

★2 グループでの話し合いで多かった意見

★企業への売却

津波浸水区域であることや、維持費抑制等の観点から、企業へ売却をする。企業が利用することで雇用が生まれる。

★一次産業活性化のための場

魚等の養殖場、地場産品の栽培、販売の場、職業体験など地域の一次産業を元気にする場

★生涯学習の場

子どもからお年寄りまでが自分のために学べる場、地域の歴史や踊りが学べる場

★広さを生かし、ドローンや機械の訓練所として活用

無人機械の実証実験の場、建設機械や農業用機械の訓練の場として活用

★健康のづくり、健康維持のための場

運動等ができる場

グループワークの全意見

意見	G	カテゴリ
ランニングコストがかかる→大企業に買ってもらう、雇用を増やしたい	4	雇用創出
売却して企業で活用を	3	企業の利用
民間事業者への売却	3	企業の利用
スタートアップで9校の活用要望をもとに提案をつのる	2	企業の利用
ビジネスマッチングも出来るような事務所棟もつくる。	2	企業の利用
片浜小と同じ事では企業は来ない、校舎の2Fは貸し倉庫、1Fは貸しコミュニティ等	2	企業の利用
切り売り、校舎の修繕をするにも予算が無い→ボランティアで修繕している、	3	売却
①売る、売ったお金で新たにジーボの近くに関連施設もうける	1	売却
津波浸水のため、売却してその価格から他の場所へ多目的施設を作ってほしい。	3	売却
企業へ売るとしても落居にあった「地頭方中学」の時の様に、パチンコ屋へ売る事はいかなものか。	2	企業の利用
倒産しない企業、地区へ有害な企業への売却はしない。	2	企業の利用
猪→解体-ジビエ	4	一次産業の活性化
きのこ栽培→販売	4	一次産業の活性化
農業体験(補助)	4	一次産業の活性化
野菜、果物、いちご、トマト	4	一次産業の活性化
道の駅→ご飯たべれる、地場産品を売れる場所	3	一次産業の活性化
うなぎ養殖	4	一次産業の活性化
魚、海老の養殖 チョウザメ、スッポン、ウニ、フグ、えび、といきん、かに	4	一次産業の活性化
海を学べる、体験できる校舎、小学港(地頭方港と連携)	2	海を生かす利用
ヨットスクール、レジャー施設、つりばり、海をいかす利用	3	海を生かす利用
体験できるもの 釣堀(えび)→その場で焼いて食べる	4	海を生かす利用
お金と政治の勉強	1	生涯学習の場
生涯学習、子供から老人まで自分の為、学	1	生涯学習の場
踊り	2	生涯学習の場
総合的な生涯学習施設	2	生涯学習の場
ドローン等の学校(片小に無いもの)	2	生涯学習の場
歴史	2	生涯学習の場
地元も使えるオートキャンプ施設(グラウンドの有効利用) キャンピングカー	2	イベント広場
イベント広場	2	イベント広場

意見	G	カテゴリ
御前崎市には多目的広場が数カ所あるが、牧之原市には勝間田に一カ所あるだけか。学校あと地を広場に活用する。	2	広場
グラウンドはグラウンドゴルフ場にして大きな大会を行う。校舎は宿泊施設にする。	2	運動
健康維持できるような体育施設がほしい。	3	運動、健康増進
敷地全体を公園にして、健康作りの場所にする。	4	運動、健康増進
スポーツ	2	運動、健康増進
地頭方地区の人口が減少する中で利用者を他の地域からよべる様な施設	2	集客
先端の教育研究施設(外からの学習者の呼び込める施設)	2	集客
道の駅	2	集客
低価格の宿として利用する。	4	宿泊
ドローン、水中ドローン、建設機械、農業用機械の訓練	4	訓練、実験の場
無人機械の実証実験場	4	訓練、実験の場
職業体験訓練	4	訓練、実験の場
ドローンの	4	訓練、実験の場
ジーボの使い勝手が良くないので地域のコミュニティ施設	2	コミュニティの場
コミュニティの場、保育園の避難場所	3	コミュニティの場
スーパーマーケット(商店)	4	利便性向上
診療所(クリニック)	4	利便性向上
発電設備を作り、地頭方地区の電気料金を下げる。	4	発電施設
ドックラン	2	広さを生かす
体育館、ひなん地、運動場、多目的利用(災害テント、ガレキ置場)災害の為の利用	1	災害時の利用
利活用した場合に修繕費は市でもつのか?地区での利用	2	
小学校は使わない	2	
幼稚園も含めた活用方法を考えたい	2	
他の地区にあるものじゃないもの(図書館とかジムとかはあるから)	3	

【参考】

●地域の意向（R4年度意見交換会）

開催日 令和5年3月16日（木）19時～20時30分
会場 ジーボ
参加者 21名

テーマ「地域がどんな地域になったら良いか」

『若い人とともに、
伝統文化を大切にしながら
自然の中で、お互い助け合い、
安心して楽しく暮らせる地域』

「地域がどんな地域になったら良いか」

多く出された意見(項目ごとのまとめ)

★祭り、地域の行事の継承

祭り、ビタミンマルシェを続ける。祭りが続けて行われ、子どもたちにもっと仲間意識が大きくなればいい。

★人と人とのつながり、助け合う地域

地域で助け合える、団結力のある地域、高齢者が集まる場所を増やす

★自然を守る、自然を活かす

海で遊べる環境を残す。海の景色を残したい。地頭方港周辺の整備

★若者、人が集まる地域に。

若い夫婦が住みたくなるような地域づくり。新しい産業、ビジネスの誘致

★鈴木梅太郎博士の顕彰

いろんなことを学んだり、取り組んだりする文化、教育のある地域。鈴木梅太郎博士から学ぶもの